

# 第5次和寒町総合計画

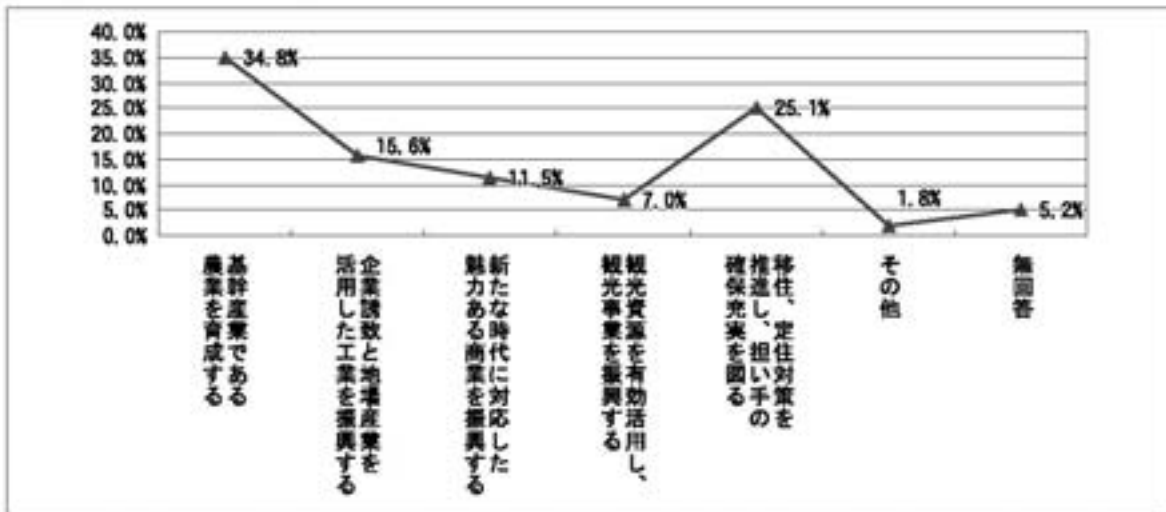
【後編】

## 町民意向調査結果をお知らせします

9月号に引き続き、第5次総合計画策定に伴う町民意向調査の「今後力を入れるべき各分野別の政策」「町政について」の結果についてお知らせいたします。

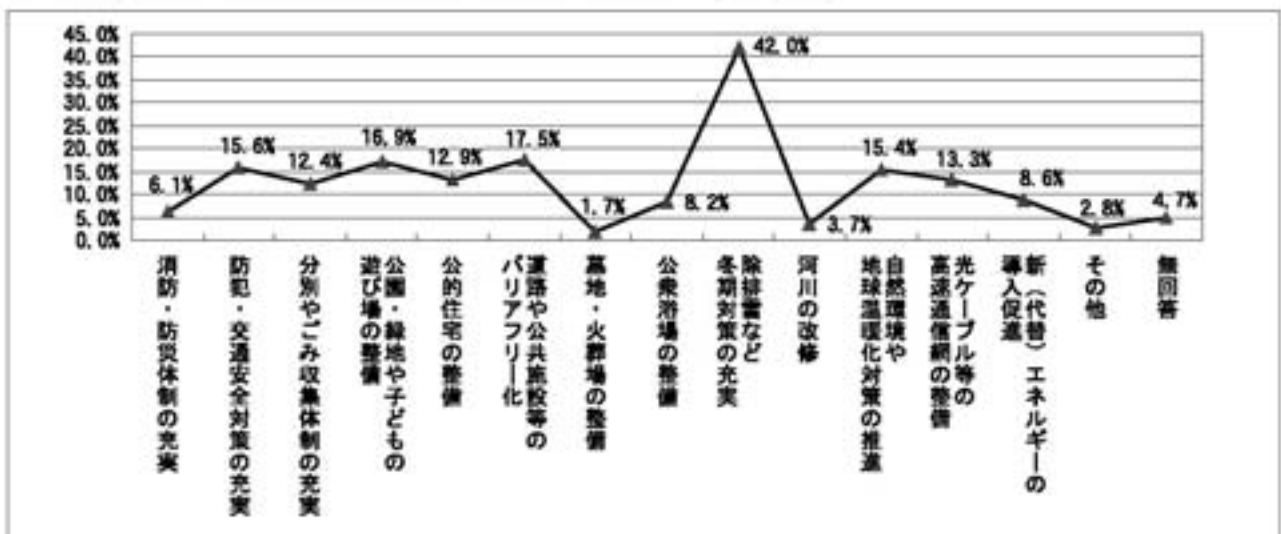
### ■今後力を入れるべき各分野別の政策について

○産業振興についてどこに力を入れるべきと思いますか。(1つ選択)



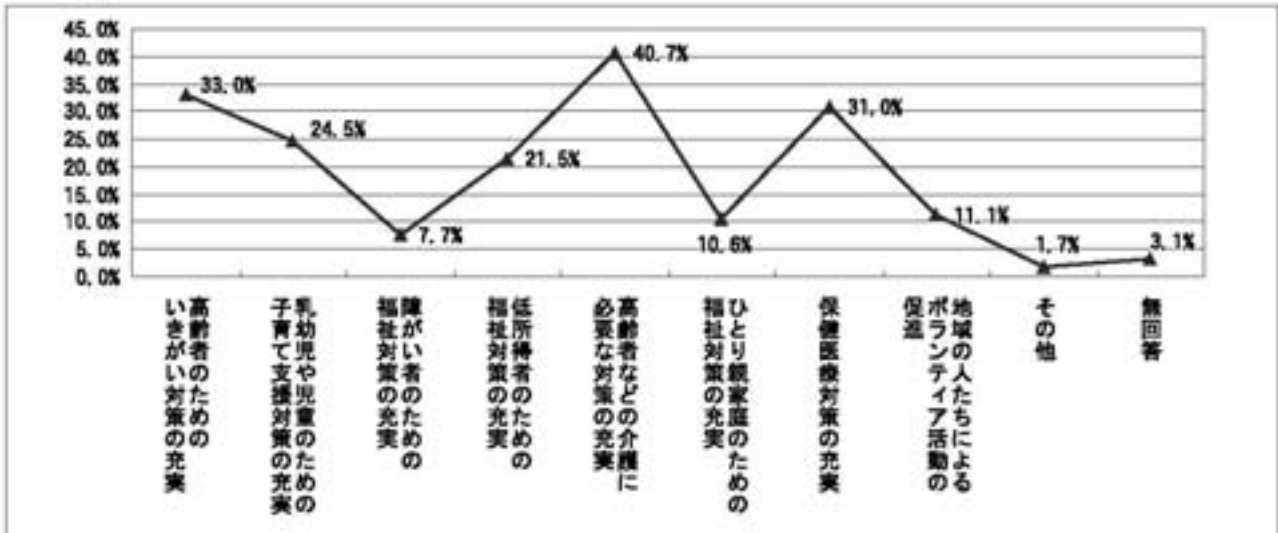
最も構成比の高い項目は「基幹産業である農業を育成する」で34.8%、次いで「移住、定住対策を推進し、担い手の確保充実を図る」の25.1%となっています。年齢構成別では「基幹産業である農業を育成する」が全世代で回答が数多く、次いで高かった「移住、定住対策を推進し、担い手の確保充実を図る」は60歳代が高く30%台、次いで20代となっています。

○生活環境についてどこに力を入れるべきと思いますか。(2つ選択)



最も構成比の高い項目は「除排雪など冬期対策の充実」の42.0%、次いで「バリアフリー化」「公園・緑地・遊び場整備」「防犯・交通安全」「地球温暖化対策」「高速通信網整備」「公的住宅整備」「ごみ収集体制」が概ね同程度の割合となっています。年齢階層別に見ると、20～30歳代の子育て世代は「公園・緑地や子どもの遊び場の整備」の構成比が他年齢層より高くなっています。また、20～40歳代では「光ケーブル等の高速通信網の整備」の構成比が他年齢層より高くなっています。

○福祉に関する対策についてどこに力を入れるべきと思いますか。(2つ選択)



最も構成比の高い項目は「高齢者などの介護に必要な対策の充実」の回答が40.7%と最も高く、次いで「高齢者のためのいきがい対策の充実」「保健医療対策の充実」となっています。年齢階層別に見ると、子育て世代の20～40歳代において「乳幼児や児童のための子育て支援対策の充実」の回答が他年齢層より高くなっています。

■町政（まちづくり）への関心度について

町政への関心度は「やや関心がある」が最も高く42.0%で、次いで「関心がある」の28.7%となっており、合わせると7割程度の構成比となり、町政に対する関心度は高くなっています。年齢階層別に見ると「関心がある」の回答は60歳代以上が約35%と最も高い構成比となっており、「やや関心がある」では多くの世代で4割前後に集中し最も高い構成比になっています。また「あまり関心がない」では世代により開きが見られる結果となっています。



■まちづくり活動への参加について

参加したい活動内容は「清掃・リサイクル・花いっぱい運動・地球温暖化対策などの環境活動」の回答が31.9%と最も高く、次いで「自治会活動などの地域活動」の25.8%、「高齢者や障がい者などの交流活動や福祉活動」の25.8%となっています。年齢階層別に見ると「祭りや運動会・イベントなどの行事」「教育文化やスポーツなどの地域活動」では、20～30歳代が他の年齢層より高くなっています。また「交通安全や消防・防犯活動」「子ども会やPTA活動などの青少年育成活動」はどの年齢層においても低い構成比となっています。

